



体育祭の取り組み開始

9月12日(月)の4限目に、『第1回体育祭リハーサル』を行いました。これまでも保健体育の授業や生徒会を中心に体育祭に向けての準備を進めてきましたが、この日から全校を挙げての取り組みが始まりました。大変暑い日でしたが、生徒たちは集合や整列からきびきびと行動してくれました。これこそが『内部中学校の良さ』です。全校生徒によるラジオ体操も初めてでしたが、しっかりと身体を動かし、退場や種目別の招集練習にも、てきぱきと取り組んでいました。



最初に、「始業式で話した『つながる』と『体験する』を大切にしたい」と伝えました。昨年度はコロナウイルス感染症の影響で、個人種目は残念ながら省略しました(3年生だけは後日実施)。今年度は『体験する』ことを重視し、全校生徒が個人種目にも取り組む予定です。



同じ日の5限目には、『生徒会ダンス』の第1回全校リハーサルを行いました。今年度は、『sumika』というロックバンドの『Simple』という曲に合わせて、実行委員の生徒が中心となって振り付けを考えてくれました。今回は、冒頭の重要な部分を、ゆっくりと確認することから始めましたが、全員が集中して動きを合わせている様子から、すでに学年や学校全体の『つながり』が感じられました。上級生はもちろんですが、1年生が振り付けを結構覚えていることに驚きました。きっと授業だけでなく、自宅でも画像を見ながら練習しているのでしょう。みんなで一つのものを創りあげるために個々が努力することは、とても大切なことです。このことは、良い『集団』を創るだけでなく、より良い『社会』を創ることにつながっています。体育祭は、27日(火)に実施する予定ですが、おそらく今日の何倍も動きや気持ちの合った、素晴らしいダンスを披露してくれることでしょう。今からとても楽しみです。



生徒会役員選挙

9月12日（月）の4限目に、『令和4年度 生徒会役員選挙』の立会演説会を行いました。この日は、4・5限にグラウンドで体育祭の練習をしたのにもかかわらず、その10分後には体育館に2・3年生が集合（感染症対策のため1年生はZOOMで教室から視聴）し、当たり前のように立会演説会が始まりました。このことは何でもないようで、とても素晴らしい



ことです。内部中学校の良さの一つでもあります。そうした凛とした雰囲気の中、選挙管理委員長・副委員長が進行し、7名の立候補者とその応援者が、それぞれ立派に演説をしました。



演説の内容は様々でしたが、多く聞かれたのは「より良い学校となるよう力を尽くしたい」という言葉でした。こうした気持ちや意欲は、大変嬉しいことです。でも実は、『生徒会ダンス』と同じように、より良い学校を創りあげるのに必要なのは、全校生徒一人ひとりの「思い」と「行動」なのです。

開票結果は、翌日の13日（火）の朝、生徒昇降口に張り出されました。全員が当選でした。現在の生徒会役員の生徒たちの思いを引継ぎ、後期からしっかりと活躍してくれることを期待します。

本の紹介

夏休み中にたくさん読書をした生徒も多いことでしょう。本からは多くの知識が得られるだけでなく、読むことで価値観や世界を広げ、感性を磨くことができます。それでも「本を読むのはちょっと苦手」という生徒もいるでしょうから、絵本形式で簡単に読める本を紹介します。



今回紹介するのは、写真の通り『二番目の悪者』という本です。「金色のたてがみを持つ金ライオンは、一国の王になることを望んでおり、自分こそが王にふさわしいと思っていました。ところが、街はずれに住む優しい銀のライオンが「次の王様にふさわしい」という噂を耳にします。」それ以降はネタバレになりますので、続きを書くのは控えます。登場するのは動物ばかりで、人間はひとりも出てきません。それなのに、「メールで他者に伝える」といった内容が出てきます。これは私たちが生活する、現代社会を暗示しているように思います。どのような結末なのか、どのようなメッセージが込められているかについては、本校の図書館にもありますので、是非自分で読んでみてください。